

2025年度 まこと保育園 自己評価公表シート

1・園の教育保育目標

「優しい思いやりのある子」

「明るい元気な子」

「何事にもがんばる子」

乳幼児期にふさわしい環境の下で、友達や保育者と楽しく充実した生活を営み、人間として生きる力の基礎となる、豊かな心、意欲、態度を育てる

2・2024年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した、園評価の具体的な目標や計画

保育

「楽しく遊んで、元気な身体を育てよう」をテーマに遊びを通して子どもたちの心の充足と健康を意識した保育をする。

1日の流れや行事等は、年間を通して前年度の改善点を考慮し、楽しく笑顔を引き出せる保育を設定する。

職員

1年後のこどもの姿を想像し、個々に目標を明確にした保育を行う。研修等に積極的に参加し、知識を深め、常に新しい情報に目を向ける。

一人ひとりが園の方針を理解し、保護者との信頼関係の構築に努める。

3・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
愛着形成を基本とし、子供たちが安心して毎日登園出来るよう、一人一人の状況をよく把握する。	A	毎朝、保護者との会話や、送られてくる家庭での様子を確認する事で、一人一人の状態に寄り添った保育が出来ている。子どもの発達段階を理解、把握し個々に合った保育をする事で、意欲的に生活出来ている。
食事や運動を基本とし、日々の保育の中で友達や保育者との関わりを楽しむ。子どもたちの意欲を引き出し、何事も楽しむ。	A	「いっぱい遊んで、いっぱい食べる」をモットーに積極的に戸外でたくさん遊ぶことを基本としている。丈夫な体作りの基本として、たくさん体を動かし、ご飯をたくさん食べ、しっかり午睡ができている。
職員の資質向上の為に、研修等に参加し、乳幼児理解に努める。	A	一人一人が積極的に研修に参加し、自己研鑽に励んだ。研修の内容はレポートにまとめ、職員会議で発表、共有をした。

怪我、事故、災害時には職員全員が行動できるよう、安全に関する項目の共通理解を図る。また、園内環境整備にも目を配る。	A	毎月の避難訓練に加え、園内で研修を行っている。AEDの使い方などは常に新しい情報を更新し、いざという時に備えるためにも繰り返し行う必要がある。毎年全員が同じ水準で知識を持てるよう講習に参加し、情報共有する。
保護者との信頼関係の構築に努める。	B	日々の子どもの様子や個別相談は細かく対応できていた。園のお願いやお知らせ等は、園だより、ホームページ等を使い、園での様子を発信している。職員間の報告連絡を徹底し連絡漏れの無いよう注意する。

4・園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	子どもたちの個性を大切にし、自由でのびのびとした保育を行うことができた。基本の決まり事は守るが、型にはまりすぎず臨機応変な保育が実践できたことにより、明るく積極的に活動に取り組む姿と生き生きとした笑顔がたくさん見られた。開園以来、初めて保育園の子どもたちのみの運動会を企画・実践し、大成功であった。子どもたちの夢中で取り組む姿が見られ、満足度が高かった。企画から準備まで職員同士も積極的に意見を出し、制作物を準備する段階から一致団結できた行事となった。

5・今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員間の連携	職員の働き方も多様になり、人数も増えた。勤務時間も様々なので、時間によりクラスの移動もあり、引継ぎの連携を徹底知っていききたい。
職員の自己研鑽	自身で学びたい保育の研修への積極的参加。研修で得た知識・技能の共有。全員が一度で相談解決できるよう園の方針を理解し説明できるようにする。
こども園との連携	今まではこども園の行事に参加することで交流の機会があったが、こども園の園児や未就園児の親子が保育園を利用することが増えた。食育やリトミック等一緒に楽しんでいきたい。

◎「3・4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である